

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ミルキーウェイキッズ	公表日	年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	・間仕切りを増設して狭くなることが懸念されたが、レイアウトを工夫し広く使えるようにしている
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0	・以前より職員の人数にも余裕があり、利用者様へ深く関わることができた
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	3	・荷物BOXに顔写真+名前を貼る等、利用者様からも分かりやすいよう工夫している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	4	・毎日チェックリストを活用して清掃や消毒を行っている。玩具を口に入れる児も多いので遊んだ後に消毒を行うようにしている
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	1	・個別に仕切られたスペースがあり、視覚的にも分かりやすく構造化している。個室を設けたことで熱発の際に隔離したりカームダウン（休憩）することができるようになった
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	1	・適宜、振り返りを行い、それをもとに目標立案や実行、評価が行いやすい環境であると感じる ・職員各自で目標を定めて1年間取り組めるよう努力している
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	・保護者様からの事業者評価の内容を見て、事業所に対しどういった評価をしているかを知ることができた。その中で改善できそうな事は対応している
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	・職員全体会議での意見交換や昼礼などで職員同士が意見交換しやすい雰囲気がある。また、その内容を業務改善へ繋げている
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	2	・外部の講師から研修を受けて支援について相談したり運営における助言を頂いたりすることで客観的に振り返る機会がある
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	・外部講師からの事業所内研修以外にも、療育センターや他機関が開催している研修などへ参加できるよう案内がなされている
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	・支援プログラムの作成、公表を行っている
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	・モニタリングを行ったうえで、月1回の嘱託医による健康観察も含めトータル的にアセスメントし、そこを利用者様、ご家族からの相談やニーズも乗せて客観的に分析するよう努力している
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	・計画作成におけるモニタリングの際にもできるだけ様々な職種が参加し様々な観点や知識を活かした計画を立てるよう努力している
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	・モニタリングや計画書は回覧している。また重要なことは昼礼で口頭でも伝えるなど職員全体が把握できるように工夫している
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	3	・発達検査の結果などから現在の利用者様に合った支援を考案している ・アセスメントに関し記録する時としない時がある為、職員全体で記録の意識を高めていきたい
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0	・利用児の担当職員だけでなく多職種から情報収集を行っていることで、より具体的で個別的な支援内容が設定されていると感じる ・個別支援会議への相談員の同席依頼や担当者会議へ出席し、学校や他事業所との情報共有をした上で具体的な支援目標を掲げるよう工夫している

な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	・その日の活動担当の職員を中心に、スタッフ同士で利用者様に合わせたレベルの設定や配慮など意見を出し合いながら提供している	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	2	・いつもと違う音楽を聴いてみたり体を動かしたりと工夫している ・楽しんでもらえるような外出行事やイベント企画等を考案している	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	・個別活動ではあと少しで達成できる事や好きな事を中心に行い、集団活動では参加可能でコミュニケーションの機会が得られる、かつ楽しめるなど目標が達成しやすく無理のない内容を考えて提供している	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	12	・毎日、昼礼の実施を行い、支援に入るスタッフでミーティングを行っている。その日に行う支援内容の確認、送迎職員、役割分担やその他情報の周知を行っている	・長期休暇では昼礼が実施できないこともあるのでその期間のミーティング方法に工夫が必要である
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	9	・送迎でスタッフが揃わないことが多い為、終了後の振り返りを職員全体で行えてはいない。 ・適宜、申し送りノートやLINE等を活用し情報共有に努めている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	・各自、気付きや得た情報は記録に残し、支援の検証や改善に努めている。発作の記録が必要な利用者様は専用のシートを用いて適宜記録している	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0	・利用者様の少ない午前中の時間を活用して、半年に1回を目途に職員が集まってモニタリングを行い、見直しを行っている	・半年に1度では足りないと感じる事もある為、利用者様に応じて頻度を増やしていきたい
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	・対象の利用者様の担当職員がそれぞれ責任をもって参画している ・なるべく様々な職種が会議へ参加できるよう工夫している	
関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	・必要に応じて関連機関に利用時の様子を見学に行く事ができた ・支援に関して不明な点や確認したいことがあれば電話で確認した ・嘱託医にも相談できる体制が整っている	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	・併用利用や移行に向け、関係機関と情報共有や協力を行なながら支援できていると感じる	・今後、移行支援シートの取り入れを検討したい
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	・担当者会議に参加し情報共有を積極的に行っている	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	12	2	・近隣の療育センターと連携し、保育士やリハビリ職員等から情報を頂いたり実際に支援現場を見学訪問しアドバイスを頂いている	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	13		・コロナウイルスも5類でなくなった為、今後の感染症の状況も考慮しつつ地域のこどもとの交流の機会も視野に入れていきたい
	33 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	・個別支援会議や送迎の際に状況をお伝えしている。なるべく利用者様と保護者様の意見を尊重するが、目標やニーズが高い場合は内容を噛み砕いて達成しやすいスマールステップでの目標を設定している	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	5	・茶話会を開催し、保護者様同士で交流できる場の提供を行った	・ご家族が参加できる内容の研修は開催したことが無いが、今後開催を視野に入れていきたい。 ・ペアレントトレーニングの研修を受けたい
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	・契約時を中心にお伝えしている。それ以降に変更した内容については書面で配布したり、必要に応じて対面で直接お伝えしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	・必ず利用者様と保護者様の意見を尊重し、目標やニーズが高い場合には達成しやすいよう内容をかみ砕いて目標を立案している。できる限り意向に添えられるよう努力している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	・計画書の変更や疑問、変更の有無を確認した上で同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	・医療的ケア児であれば発達より発作や医療的ケアに関する相談が多い傾向にある。分かる限りは助言したり嘱託医へ相談したりして保護者様の悩みが解決に向かうよう努力している	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	1	・年に1度、ご家族参加型のイベントを開催しており兄弟児様にも参加いただいている。保護者様は茶話会にも出席してもらい、保護者間の交流の場を設けた取り組みを行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	・利用時間の調整や実施してほしい支援について等よく相談した上で実施できた	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	・毎月のお便りやSNSの発信で伝えることができた	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	2	・SNSでの発信に写真を使用して良いか等、事前に承諾書や同意書を頂いている ・カルテなどの個人情報は外へは持ち出さず、書庫には施錠して管理している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	・専門用語ではなく分かりやすい言葉で伝えるよう努めている ・誰にでもわかりやすいように言葉をかみ砕いて説明したり、絵カードなどのコミュニケーションツールを活用して対応している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	7	・ご家族参加型のイベントではボランティアスタッフを外部から募るなど地域交流を行っている ・感染症の観点からも日々に開かれた活動が行えなかった	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	2	・マニュアルの周知はできているが、全てにおいて訓練までは行えていない現状がある	マニュアルに沿って実際に動いてみる機会を持ち、イメージを付けていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	・BCP策定しており、災害時の避難訓練に関しては消防署の協力のもと定期的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0	・お薬手帳の共有や発作状況の確認を保護者や必要な機関と行っている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	1	・アレルギーの有無に関して、間違って提供しないようにおやつBOXに貼付してあるアレルギー表を見ながら慎重に提供している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	2	・5S委員会を中心に安全に利用できる環境作りに努めた ・安全管理を継続していく	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0	・救急搬送基準や緊急時の対応は個別支援会議の際に確認し、保護者様とも共有している ・ご家族に安全計画の書類を配布し共有している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	・毎回職員間で共有する時間を設け、再発防止に努める事ができている	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	・社内研修を実施したりオンライン動画研修サービスを活用したりすることで定期的に研修を受講している	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児とご家族に対しても十分な説明を行い、同意を得た上で条件がそろった時のみ身体拘束を行っている。 ・身体拘束の事案が発生した際は拘束解除に向けた会議も行っている 	